

丘の上から

11月号

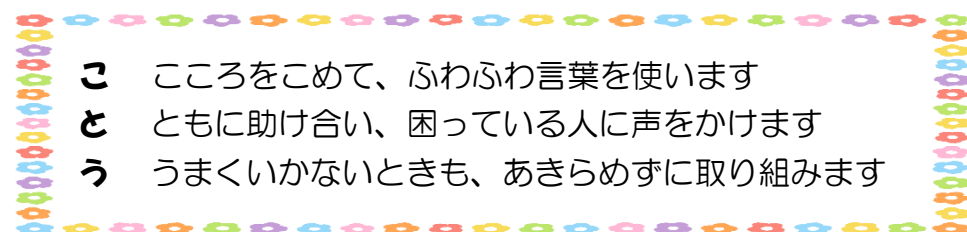


秋色が濃くなり、朝夕が寒くなり、冬の足音が近づく季節となりました。

「実りの秋」です。10月には学習田の収穫があり、たくさんのお米が収穫できました。収穫したお米をもとに、これまでオータム・スクールと呼んでいたものを今年度から「収穫祭 in KOTO 2026」と名前をかえて実施します。作物の実りに感謝するとともに、子どもたちがたくさんの「できた!」という実りを実感できるよう、温かく励ましてまいります。

厚東小「みんなでがんばって取り組むこと」決定!

先日、「教職員・児童・保護者 みんなでがんばって取り組むこと」のアンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。児童、保護者、地域の方、教職員の意見を集約し、以下の通りに決定いたしました。



- こ こころをこめて、ふわふわ言葉を使います
- と ともに助け合い、困っている人に声をかけます
- う うまくいかないときも、あきらめずに取り組みます

子ども達だけでなく、保護者、地域の方と一緒に、厚東小がより良い学校になるよう盛り上げてまいります。

米の収穫

春に植えたお米も、実りの時期になりました。青空のもと、10月6日(火)に、地域の方や保護者の皆様と一緒に稲刈りをしました。高学年の児童は慣れたもので、すいすいと刈っていました。下学年の児童は、鎌を持つ手もおぼつかなく、不安そうに稲を刈っていました。ですが、6年生や地域の方に優しく教えていただきながら、少しずつ刈ることができました。刈り取った稲は、すぐにコンバインで脱穀し、地域の方のお世話でお米にすることができました。収穫したお米は、11月7日(土)の収穫祭で、お餅として皆さんにお届けいたします。



竹太鼓 演奏発表

10月18日(日)に開催された「厚東らぶフェスタ」では、4~6年生による竹太鼓の演奏発表を行いました。今年度初めて、Oバージョンの発表を行いました。当日はたくさんの方に見守られ、大変緊張した様子でしたが、立派に発表できたと思っています。「緊張する～」と言っていた児童も、いざ発表になると真剣なまなざしでしっかり前を正視していました。



人権教育参観日

10月20日(火)に、人権教育参観日を開催しました。講演会では、ウォーターアートフォーマーの堀川玄太様にパフォーマンスを交えながらご講演いただきました。



その中で、予測が難しかったり気が散ってしまったりするというご自身の特性の話をしていました。しかし、ちょっとした支援や気遣いがあると、周りの人と同じようにできることなども話されていました。話の最後には、障害のあるなしにかかわらず、周りの人、全てに優しく接してほしいとまとめておられました。

収穫祭 in KOTO 2026のご案内

- 1 期 日 令和8年11月7日(土)
 - 2 日程及び内容
 - 8:35~ 8:50 開会セレモニー
 - 9:00~ 9:50 おもちつき
 - 10:00~ 11:10 お店市
 - 11:20~ 11:35 竹太鼓演奏
 - 11:45~ 12:00 閉会セレモニー
- ぜひ、お越しください。

